Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番　WV-CF45,WV-CF46

（イラストはWV-CF45です）

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（6ページ〜7ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機は、テルック専用のビデオ受像機などに接続して使用する、ドーム型のカラーテレビカメラです。必要に応じてACアダプターなどのDC電源で使用することもできます。

WV-CF45：カメラ設置時に、画角を自由に変えられる2倍バリフォーカルレンズを採用しています。

WV-CF46：広い範囲の撮影が可能な、広角レンズを採用しています。

主な特長は次のとおりです。

スーパーダイナミックⅢ方式（SUPER-DⅢ）を採用

CCD部および信号処理回路にスーパーダイナミックⅢ方式を採用し、通常のカメラと比較して、約128倍の高ダイナミックレンジを実現しています。明るい部分から暗い部分まで、照度差の激しい被写体も自然な映像で撮影できます。

フォーカスアシスト機能を搭載

フォーカス調節時、最適なフォーカス位置を知らせてくれます。

ノイズリダクション機能を搭載し、高感度を実現

低ノイズ回路設計により、カラー映像時、最低0.7 lx（F1.4）を実現しています。

モーションディテクター機能を搭載

監視中、モニター内に動きが生じた場合やカメラを布やふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを変えられたりした場合、アラーム信号を送出します。

電子ズーム機能を搭載

電子ズーム機能（最大2倍）により、画角を微調節できます。

内蔵マイクロホンを搭載

テルック専用のビデオ受像機などに本機を接続すると、内蔵マイクロホンによりカメラ付近の音を聞くことができます。

付属品をご確認ください

本機を使用する前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。
万一、不足している物がありましたら、お手数ですが、お買い上げの販売店にご連絡ください。

取扱説明書（本書）………………1冊
保証書 ………………………………1式

以下の付属品は取り付け工事に使用します。
天井取付金具 ……………………1個
カメラ固定用ねじ ………………1本
ドームカバー固定用ねじ ………1本
絶縁スペーサー ……………4セット

※設置には、天井取付金具固定用のねじ（4本）が必要です。取付状況に応じて別途ご用意ください。

●別売品のご紹介　※品番は、2005年9月現在のものです。
埋込型カメラ取付金具：WV-Q136

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものでありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
  ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など。
  ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
  ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害。
  ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
  ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

もくじ

取扱説明

はじめに

工事説明

設置・接続

設定

その他

安全上のご注意 必ずお守りください

はじめに

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

⚠警告

分解しない、改造しない

火災や感電の原因になります。

● 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

● ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

質量（重量）に耐える場所に取り付ける

取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因になります。

● 取付場所を補強してください。

定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

● 点検は販売店にご依頼ください。

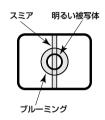
取り扱い上のお願い

屋内でのみ使用してください
長時間日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

長時間安定した性能でお使いいただくために
- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります（推奨温度＋35 ℃以下）。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度＋10 ℃～＋50 ℃、湿度は90 %以下の場所でお使いください（常時通電状態でお使いになる場合）。

CCD色フィルターの焼き付きについて
画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

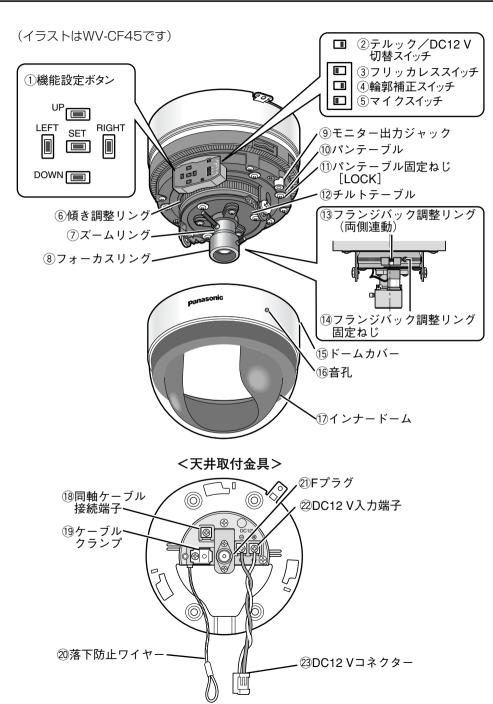
レンズの清掃は
レンズクリーニングペーパー（眼鏡やカメラの清掃に使うもの）で行ってください。溶剤を使用する場合はアルコール類を使用し、ガラスクリーナーやシンナー系のものは使用しないでください。

強い光にカメラを向けないでください
画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。

取り扱いはていねいに
落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因になります。

お手入れは
お手入れは電源を切って行ってください。けがの原因になります。
ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

汚れがひどいときは
水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

各部の名前

（イラストはWV-CF45です）

①機能設定ボタン
各種機能を設定するときに使用します（☞23,24ページ）。
UP　　：上ボタン
DOWN：下ボタン
LEFT　：左ボタン
RIGHT：右ボタン
SET　 ：SETボタン

②テルック／DC12 V切替スイッチ
テルック電源とDC12 V電源を切り替えます。
テルック（工場出荷時）
：テルック専用ビデオ受像機などを接続した場合に設定します。
DC12 V
：DC12 V入力端子からDC12 V電源を供給する場合に設定します。

③フリッカレススイッチ[フリッカレス]
50 Hz地域の蛍光灯下で使用する場合、「入」にするとフリッカが少なくなります。
出荷時の設定は「切」です。

④輪郭補正スイッチ［輪郭］
弱：ソフトな画質になります。
強：シャープな画質になります。
出荷時の設定は「強」です。

⑤マイクスイッチ ［マイク］
内蔵マイクロホンを使用する場合は「入」にします。
ACアダプターなどのDC電源で使用する場合は「切」にします。
出荷時の設定は「切」です。

⑥傾き調整リング
画の傾きを調整します。

⑦ズームリング（WV-CF45のみ）
画角（視野角）の調節ができます。

⑧フォーカスリング（WV-CF45のみ）
画のピントを合わせます。

⑨モニター出力ジャック（RCAピンジャック）
画角、ピント調節時に使用します。
同軸ケーブルを接続します。
同軸ケーブルの片側をビデオ受像機のカメラ入力端子に接続し、ビデオ受像機の電源を入れます。

お願い
・画角、ピント調節時の専用出力のため、その他の用途には使用しないでください。画面にノイズが入る場合があります。

⑩パンテーブル
カメラの水平方向の角度を調節します。

⑪**パンテーブル固定ねじ**
パンテーブルを固定します。

⑫**チルトテーブル**
カメラの垂直方向の角度を調節します。

⑬**フランジバック調整リング**

⑭**フランジバック調整リング固定ねじ**

⑮**ドームカバー**
カメラヘッドを保護します。
設置工事後に保護シートをはがしてください。はがした後は、手で直接ドームを触らないでください。

⑯**音孔**

⑰**インナードーム**

＜天井取付金具＞

⑱**同軸ケーブル接続端子**

⑲**ケーブルクランプ**

⑳**落下防止ワイヤー**
カメラ本体のフックにひっかけて固定します。設置の際、および調節時は必ず固定してください。

㉑**Fプラグ**
カメラ本体と接続します。

㉒**DC12 V入力端子**

㉓**DC12 Vコネクター**

設置上のお願い

⚠**警告** ⚠**注意** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機は屋内専用カメラです。屋外では使用できません。

カメラ、ビデオ受像機間の最大延長距離は、500 mです。
（同軸ケーブル5C-2V使用時、抵抗値20 Ω以下）

湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
内部の部品がいたみやすくなり、故障の原因になります。

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因になります。

電波障害について
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界の近く（モーターやトランスなど）では、映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、専用の薄電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。

カメラケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください。
雑音の入る原因になります。

ビデオ受像機と外部スピーカーは離して設置してください。
ハウリングの起こる原因になります。

騒音の高い場所は避けてください。
エアコン、空気清浄器、自動販売機などの付近は、雑音の入る原因になります。

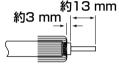
設置場所について
- カメラの質量（重量）に十分耐えられる場所に取り付けてください。
- 取付場所の材質により、取り付けかたが異なります。
  - ・木材の場合
    ：木ねじで固定。
    板厚は15 mm以上必要。
  - ・鋼材の場合
    ：M4のボルト、ナットで固定。
  - ・コンクリート壁の場合
    ：ドライピットまたはパナソニック電工株式会社製のAYプラグボルトで固定。
- 天井板の材質がもろく、天井取付ねじがきかない場合、カメラが落下する恐れがあります。その場合には、別売の埋込型カメラ取付金具WV-Q136を使用してください。

接続する

接続を行うときは、各機器の電源を切った状態で行ってください。

STEP1

ドームカバー内の、フリッカレススイッチ、輪郭補正スイッチ、マイクスイッチ、テルック／DC12 V切替スイッチを設定します。
各スイッチについて詳しくは、10ページをお読みください。

STEP2

同軸ケーブル（別途調達）を接続します。同軸ケーブル接続端子に芯線を、ケーブルクランプに編組線部を固定してください。

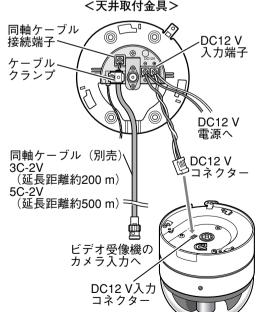
STEP3

DC電源を供給する場合は、DC12 V入力端子に、DC12 V電源のケーブルを共締めしてください。

STEP4

DC12 Vコネクターを、カメラ本体のDC12 V入力コネクターに接続してください。

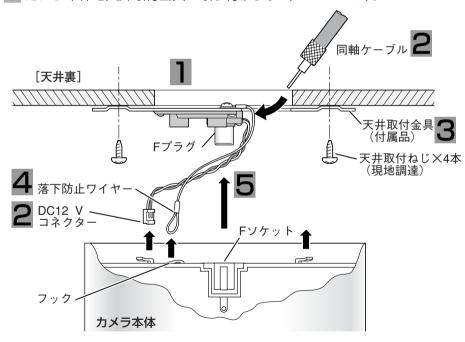
STEP5

同軸ケーブルでビデオ受像機と接続します。

設置する

設置手順

取り付けかたの詳細は、参照ページをお読みください。

1 天井に取付穴をあけます（☞15ページ）。
2 同軸ケーブル（別途調達）を天井取付金具に取り付けます（☞13ページ）。
DC12 Vで使用する場合は、DC電源（別途調達）をDC12 V入力端子に接続してから、DC12 Vコネクターをカメラ本体に接続します（☞13ページ）。
3 天井取付金具を天井に固定します（☞15ページ）。
4 落下防止ワイヤーをカメラ本体のフックにひっかけます（☞16ページ）。
5 カメラ本体を天井取付金具に取り付けます（☞16ページ）。

［天井裏］
1
同軸ケーブル 2
天井取付金具（付属品） 3
Fプラグ
天井取付ねじ×4本（現地調達）
4 落下防止ワイヤー
5
2 DC12 V コネクター
Fソケット
フック
カメラ本体

メモ

右図①のように、被写体の真上に設置したとき、モニターと被写体の中心合わせが調節しきれない場合があります。その場合、②のようにαにやや角度をつけて設置すると、カメラアングルの調節（☞18ページ）がしやすくなります。

天井取付金具の取り付け

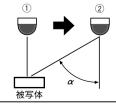
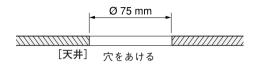
STEP1

天井に穴をあけます。

メモ

本機の取付穴は、2個口の電工ボックスに合わせてありますので、事前に電工ボックス（別途調達）を取り付けておくこともできます。

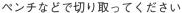
STEP2

同軸ケーブル（別途調達）を天井取付金具に取り付けます（☞13ページ）。

STEP3

天井取付金具を、天井に固定します。

絶縁スペーサー
4セット
（付属品）

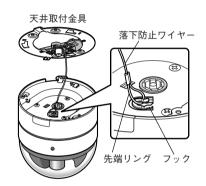
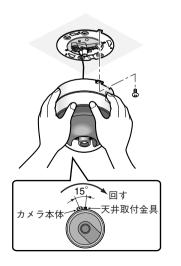
天井取付ねじ
4本（現地調達
：M4相当）

メモ

金属など、導電性の場所に取り付けた場合、取付場所によってハムなどのノイズが発生することがあります。その場合は、付属の絶縁スペーサーを左図のように取り付けることによって、天井取付金具（カメラのアース）を取付部から浮かせることができます。

メモ

天井や壁に直付けする場合は、ケーブルを側面から引き出すことができます。その場合は、左図のように加工してください。

カメラ本体の取り付け

取り付けは、各機器の電源を切った状態で行ってください。

STEP1

ドームカバーをカメラ本体からはずします。

STEP2

天井取付金具の落下防止ワイヤーを、カメラ本体のフックに取り付けます。先端のリングが、確実にフックにかかっていることを確認してください。

重要

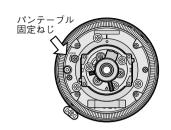
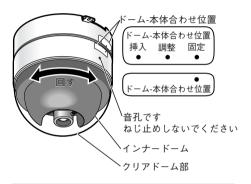
落下防止ワイヤーは、カメラ本体をつり下げることを想定し設計されていますので、それ以外の負荷を加えないでください。

STEP3

カメラ本体を天井取付金具に取り付けます。天井取付金具にカメラ本体を合わせて奥まで差し込み、矢印の方向に回します。

STEP4

付属のカメラ固定用ねじ（M3×6）1本で、カメラ本体と天井取付金具を固定します。取り付けの確認をします。

- 傾きがなく、きちんと取り付いていること。
- ぐらつかないこと。
- 本体固定部を回してみても回らないこと。

重要
「調整」の位置にしないと、インナードームは調整できません。無理に動かすと破損の原因になります。

重要
固定用ねじ穴は、SDⅢマークの近くにあります。ドーム-本体合わせ位置●近くの穴は音孔ですので、絶対にねじ止めしないでください。

STEP5

カメラに通電します。

STEP6

パンテーブル固定ねじをゆるめ、カメラアングル、フォーカスの調節をします（☞18～20ページ）。

STEP7

ドームカバーをカメラ本体に取り付けます。
ドームカバーのドーム-本体合わせ位置●と、カメラ本体のドーム-本体合わせ位置●を、「挿入」の位置に合わせます。

STEP8

インナードームの調節をします。
ドームカバーを時計方向に回して、ドームカバーのドーム-本体合わせ位置●をカメラ本体の「調整」の位置に合わせます。
この状態でクリアドーム部分を左右に回して、モニター画面を見ながらケラレが発生しない場所にします。

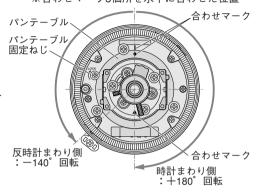
STEP9

ドームカバーのドーム-本体合わせ位置●を、カメラ本体の「固定」の位置に合わせます。ドームカバーとカメラ本体を、付属のドームカバー固定用ねじ（φ2.6 タッピングねじ）1本で固定します。

カメラアングルの調節

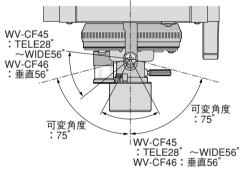
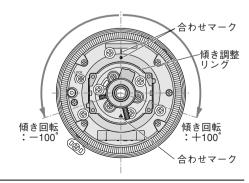
水平回転、垂直回転、画の傾き調節をそれぞれ少しずつ動かし、微調節を繰り返してカメラアングルを設定してください。

水平回転

パンテーブルを回して調節します（範囲320°）。＋180°（時計回り）、－140°（反時計回り）の間で水平回転が可能です。
パンテーブル固定ねじを締め付けて固定します。

垂直回転

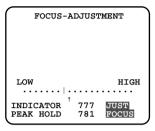
チルトテーブルを回して調節します（範囲±75°）。バリフォーカルレンズのため、視野角を変えられます（WV-CF45のみ）。反対方向にも回転しますが、画の傾きが逆転しますので、その場合は「UPSIDE-DOWN」で調節してください（☞40ページ）。パンテーブルを＋180°側に回転させると、画の傾きが修正されます。

画の傾き調節

傾き調整リングを回転させ、調整します（範囲±100°）。

メモ
水平に近い角度でご使用の場合、ドームカバーの影が映りますのでご注意ください。

画角とフォーカス調節（WV-CF45）

被写体の距離に応じて、画角とピントを合わせることができます（WV-CF45のみ）。
画角とフォーカス調節は、カメラアングルの調節と一緒に行ってください。

「FOCUS-ADJUSTMENT」画面

STEP1

ズームロックつまみとフォーカスロックつまみをゆるめ、被写体に応じて画角（視野角）を調節します。

STEP2

ズームロックつまみを締め付けます。

STEP3

SETボタンを押します。
→「FOCUS-ADJUSTMENT」画面が表示されます。
フォーカスアシスト機能により、最適な調節ができるようになります。

STEP4

フォーカスロックつまみを、ピントが合う位置の前後までつまみを動かすと、自動的に最適のフォーカス位置が「PEAK HOLD」位置として記録されます（フォーカス位置が合うとき、数値はより高くなります）。

STEP5

フォーカスロックつまみを動かすと、現在のフォーカス状態が「INDICATOR」の表示に示されます。「PEAK HOLD」の位置に近くなるように調節します。

STEP6

フォーカスが合う位置に調節すると「JUST FOCUS」と反転文字が右下に表示されます。

（次ページへ続く）

STEP7

フォーカスロックつまみを、フォーカス位置がずれないように締め付けます。

STEP8

SETボタンを再度押すと、「FOCUS-ADJUSTMENT」画面が終了します（または約3分経過すると自動的に終了します）。

メモ

調節の途中で画角が変わってしまった場合は、SETボタンを押していったん「FOCUS-ADJUSTMENT」画面を終了させてください（画角が変化すると「PEAK HOLD」、「INDICATOR」の数値が変化してしまうため）。画角を固定したのち、STEP3から行ってください。

重要

- 以下のような被写体の場合は、再度SETボタンを押して「FOCUS-ADJUSTMENT」画面を終了させるか、画像を見ながら最適なフォーカス位置に合わせてください。
  - ・動きが多い
  - ・照度変化が大きい
  - ・低照度
  - ・極端に明るかったり反射する
  - ・窓越し
  - ・レンズが汚れやすい場所
  - ・白壁など明暗が少ない
  - ・深い奥行きを持つ
  - ・ちらつきが激しい
  - ・シャッターのような平行した横方向線のみ

SETUPメニューについて

本機を使用する場合、あらかじめSETUPメニューで各項目を設定しておく必要があります。撮影場所の条件に合わせて、各項目を設定します。

SETUPメニュー一覧

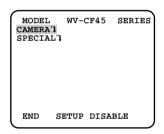
設定項目	概要	ページ
CAMERA	カメラの動作に関する設定を行います。	
CAMERA ID	カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。	25
ALC	使用するレンズに合わせて、カメラに入る光量の制御方式を設定します。	27
SHUTTER	電子シャッターの状態を確認します。	29
AGC	ゲインの調節方法を設定します。	29
SENS UP	電子感度アップを設定します。	30
WHITE BAL	ホワイトバランスの調節方法を設定します。	31
MOTION DET	モーションディテクター機能を設定します。	33
DNR	デジタルノイズリダクション機能を設定します。	36
RESOLUTION	映像の解像度を設定します。	36
PRIVACY ZONE	撮影場所の中の写したくない部分だけを表示しないよう設定します。	37
EL-ZOOM	電子ズームを設定します。	38
UPSIDE-DOWN	映像を上下（左右）反転表示します。	40
STABILIZER	カメラの画揺れ補正を行うかどうかを設定します。	40
AUDIO LEVEL	内蔵マイクロホンの音量を調節します。	40

設定項目	概要	ページ
SPECIAL		
CHROMA GAIN	クロマレベル（色の濃さ）を調節します。	41
AP SHARP	アパーチャーレベルを調節します。	41
PEDESTAL	ペデスタルレベル（明るさ）を調節します。	41
HUE	クロマ位相レベル（色合い）を調節します。	42
PIX OFF	傷を補正します。	42
CAMERA RESET	SETUPメニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻します。	43
SER.NO.	本機のシリアルナンバーを確認します。	43

基本的な操作のしかた

SETUPメニューの基本的な操作のしかたを説明します。
SETUPメニューの操作は、接続しているビデオ受像機にSETUPメニューを表示して、機能設定ボタン（☞9ページ）で行います。
ここでは、WV-CF45のSETUPメニューの画面を例に説明します。

画面1

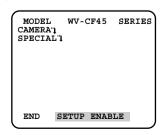
SETボタンを約2秒間押し続け、SETUPメニューのトップ画面を表示します。

STEP1

上ボタンまたは下ボタンを押して、カーソルを「END」に合わせます。

STEP2

右ボタンを押して「SETUP」にカーソルを合わせ、SETボタンを押し、設定モードを「DISABLE」→「ENABLE」に切り替えます。

画面2

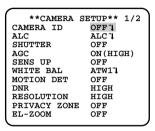
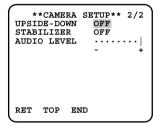
設定モードが「ENABLE」に切り替わり、SETUPメニューが設定できる状態になります。

STEP3

設定したいSETUPメニューにカーソルを合わせ、SETボタンを押します。

（次ページへ続く）

設定

画面3

選択したSETUPメニューの設定画面が表示されます。

メモ

- 本機では誤操作を防止するため、カメラ映像からSETUPメニューのトップ画面を表示すると、必ず設定モードが「DISABLE」になっています。操作するときは「ENABLE」に切り替えてください。
- カーソルとは設定項目が反転表示している部分をいいます。

STEP4

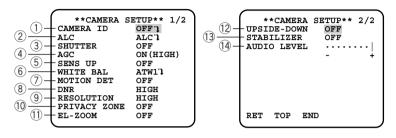
各設定項目を設定します。

- 設定項目の選択
  ：上ボタンまたは下ボタンを押してカーソルを移動します。
- 設定内容の切り替え
  ：左ボタンまたは右ボタンを押します。
- 設定項目の詳細設定画面を表示
  ：「 ↓ 」が表示されている設定項目でSETボタンを押します。
- 前の設定画面に戻る
  ：「RET」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
- トップ画面に戻る
  ：「TOP」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。

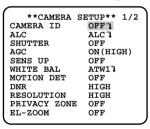
STEP5

カメラ映像の画面に戻るときは、「END」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。

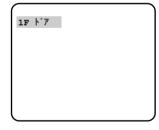
カメラの動作に関する設定を行う［CAMERA SETUP］

カメラの動作に関する設定を行います。トップ画面から「CAMERA SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは23、24ページをお読みください。

①カメラタイトルを設定する［CAMERA ID］

カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。カメラタイトルは最大16文字まで設定できます。以下の手順に従って、カメラタイトルを設定します。

「CAMERA SETUP」画面

タイトル作成画面

入力領域

表示位置設定画面

STEP1

「CAMERA ID」を「ON」に設定し、SETボタンを押します。
→タイトル作成画面が表示されます。

（次ページへ続く）

設定

STEP2

上／下／左／右ボタンで表示したい文字にカーソルを合わせ、SETボタンを押して文字を入力します。
→入力した文字は入力領域に表示されます。

＜文字入力について＞

- 文字を修正したいときは、カーソルを入力領域の矢印（↑）に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、カーソル（↑）を変更したい文字に合わせ、再入力します。
- 空白スペースを挿入したいときは、「SPACE」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
- 入力した文字をすべて消去したいときは、「RESET」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
- カタカナを入力したいときは、「KANA」にカーソルを合わせ、SETボタンを押し、カタカナ入力画面を表示します。

STEP3

タイトルを入力したら、「POSI」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
→表示位置設定画面が表示されます。

STEP4

上／下／左／右ボタンでタイトルを表示する位置を決め、SETボタンを押します。
→カメラタイトルと表示位置が設定されます。

②光量制御方式を設定する［ALC］

SUPER-DⅢの設定を行う場合は、以下をお読みください。

SUPER-DⅢ（スーパーダイナミック機能）について

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまいます。逆に暗い部分にレンズの絞りを合わせると、明るい部分が見えなくなってしまいます。

この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミック機能と言います。

［SUPER-DⅢ機能を働かせない場合］

夜間　日中

［SUPER-DⅢ機能を働かせた場合］

夜間　日中

SUPER-DⅢを設定する

SUPER-DⅢ機能の「ON」／「OFF」を設定します。

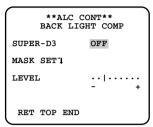
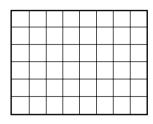
「OFF」に設定した場合、映像の明るい部分にマスクをかける設定が必要になります。また、「ON」／「OFF」のどちらに設定した場合でも、映像の出力レベル（映像のコントラスト）を調節する必要があります。

次ページの手順に従って操作します。

（次ページへ続く）

「CAMERA SETUP」画面

```
   **CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID       OFF↵
ALC             ALC↵
SHUTTER         OFF
AGC             ON(HIGH)
SENS UP         OFF
WHITE BAL       ATW1↵
MOTION DET      OFF
DNR             HIGH
RESOLUTION      HIGH
PRIVACY ZONE    OFF
EL-ZOOM         OFF
```

「ALC CONT」画面

マスク設定画面

STEP1

「ALC」でSETボタンを押します。
→「ALC CONT」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「SUPER-D3」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンで「ON」／「OFF」を設定します。
ON（工場出荷時）
：常にSUPER-DⅢ機能を働かせます。（→STEP6へ）
OFF：SUPER-DⅢ機能を停止します。（→STEP3へ）

STEP3

カーソルを「MASK SET」に合わせ、SETボタンを押します。
→マスク設定画面が表示されます。

STEP4

映像の明るい部分にマスクをかけます。上／下／左／右ボタンを押して、マスクをかけたい区画に点滅表示を合わせ、SETボタンを押します。マスクがかかると、区画が横縞と白の交互表示になります。点滅表示を他の区画に移動すると白く表示されます。マスクをかけたい区画に上記の操作を行います。

<マスクの設定を取り消したいときは>
取り消したい区画に点滅表示を合わせ、SETボタンを押します。
すべてのマスク設定を取り消す場合、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。

STEP5

マスクの設定が完了したら、SETボタンを約2秒以上押し続けます。
→「ALC CONT」画面に戻ります。

STEP6

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでレベルを調節します。

設定

メモ

- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定すると、以下の設定項目の設定内容が制限されます。
  SENS UP：OFF、AUTOのみ設定可能
- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定すると、明るい部分と暗い部分との境界に影（黒い線）が表示されることがありますが、故障ではありません。
- SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定した場合は、「LEVEL」を少し上げ気味に設定すると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像（ちらつき）やノイズなどが多くなる場合があります。
- 照明の条件によって以下のような現象がみられるときは、「OFF」に設定してください。
  （1）画面のちらつきや色の変化が生じる場合
  （2）画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

③シャッターの状態を確認する［SHUTTER］

電子シャッターの状態を確認します。設定状態によって以下の内容が表示されます。設定は本機ドームカバー内部のフリッカレススイッチで行います(☞10ページ)。
シャッタースピードの設定はできません。

フリッカレススイッチを「切」に設定しているとき　：OFF（1／60）
フリッカレススイッチを「入」に設定しているとき　：1／100

④ゲインの調節方法を設定する［AGC］

ゲイン調節方法を以下から設定します。
ON（HIGH）（工場出荷時）／ON（MID）／ON（LOW）
　：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。
　（　）内のHIGH／MID／LOWはゲインのレベルになります。
OFF：ゲインを上げません。

設定

⑤電子感度アップを設定する［SENS UP］

電子感度アップ機能を使用すると、CCDに蓄積する光量を増大させ、映像を明るくできます。FIXでは倍率は固定となり、AUTOでは被写体の照度に応じて、自動的に倍率が変化します。

電子感度の倍率は以下から設定します。SUPER-DⅢ機能の設定によって、設定できる値が異なります。

SUPER-DⅢ機能を「OFF」に設定しているとき
OFF（工場出荷時）／X2 AUTO／X4 AUTO／X6 AUTO／X10 AUTO／OFF／X2 FIX／X4 FIX／X6 FIX／X10 FIX／X16 FIX／X32 FIX

SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定しているとき
OFF（工場出荷時）／X2 AUTO／X4 AUTO／X6 AUTO／X10 AUTO

メモ

- 本機ドームカバー内部のフリッカレススイッチを「入」に設定している場合、AUTOモードのみが動作します。また、フリッカレススイッチを「入」で使用するときは、最初にフリッカレススイッチを設定してから電子感度の倍率を設定してください。
- 「SENS UP」を「AUTO」に設定し、SUPER-DⅢ機能を「ON」に設定している場合、電子感度アップの動作中はSUPER-DⅢ機能の効果が得られません。
- 電子感度の倍率を上げると、画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。

⑥ホワイトバランスの調節方法を設定する［WHITE BAL］

ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。

ATW1（工場出荷時）

：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。自動設定した後、手動で微調節することもできます（☞32ページ）。
動作範囲は約2 700 K～6 000 Kです。以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。
・被写体の大部分が濃い色
・光源が抜けるような青空や夕暮れ時の太陽
・被写体を照らす照度が暗い

ATW2 ：ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調節します。
動作範囲は約2 000 K～6 000 Kです。

AWC ：自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。「AWC」に設定した場合、ホワイトバランスを調節するための操作を行う必要があります。

「AWC」に設定した場合、以下の手順に従ってホワイトバランスを調節します。

「CAMERA SETUP」画面

```
   **CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID      OFF↵
ALC            ALC↵
SHUTTER        OFF
AGC            ON(HIGH)
SENS UP        OFF
WHITE BAL      ATW1↵
MOTION DET     OFF
DNR            HIGH
RESOLUTION     HIGH
PRIVACY ZONE   OFF
EL-ZOOM        OFF
```

STEP1

「WHITE BAL」を「AWC」に設定し、左ボタンを押して、「AWC→PUSH SW」に切り替えます。
→「AWC」が「AWC→PUSH SW」に切り替わります。

STEP2

SETボタンを押してホワイトバランスを調節します。調節中は「PUSH SW」が反転表示します。反転表示が元に戻ったらホワイトバランスの調節は終了です。

（次ページへ続く）

STEP3

右ボタンを押して、「AWC」に設定します。
ホワイトバランスを微調節する場合は、「ホワイトバランスを微調節する」をお読みください。

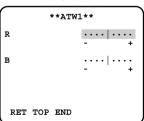
メモ
動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。この補正範囲から外れていたり、被写体を照らす照明が暗いときは、ホワイトバランスが完全に調節できないことがあります。
このとき、「PUSH SW」の表示は反転表示のままになります。

ホワイトバランスを微調節する

自動色温度追尾モード（ATW）、自動ホワイトバランスコントロールモード（AWC）でホワイトバランスを自動調節した後に、手動でホワイトバランスを微調節します。
以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```
   **CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID      OFF↵
ALC            ALC↵
SHUTTER        OFF
AGC            ON(HIGH)
SENS UP        OFF
WHITE BAL      ATW1↵
MOTION DET     OFF
DNR            HIGH
RESOLUTION     HIGH
PRIVACY ZONE   OFF
EL-ZOOM        OFF
```

微調節画面

STEP1

「WHITE BAL」を「ATW1」、「ATW2」または「AWC」に設定し、SETボタンを押します。
→微調節画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「R」、「B」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、レベルを微調節します。「R」は赤色、「B」は青色をあらわし、「＋」方向に動かすと色が濃く、「－」方向に動かすと色が薄くなります。

⑦モーションディテクター機能を設定する［MOTION DET］

モーションディテクター機能を設定します。MODE1とMODE2のどちらかを選択します。MODE1に設定した場合、感度のレベルや検出範囲の設定など詳細設定が必要になります。また、デモモードを使って検出範囲の設定や確認を行うこともできます。

MODE1　：動きを検出したときにアラーム信号を送出します。
MODE2　：カメラを覆い隠されたり、向きを大きく変えられたりしたことを検出し、アラーム信号を送出します。
OFF（工場出荷時）　：モーションディテクター機能を設定しません。

モーションディテクター機能（MODE1）について

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識し、撮影場所の映像に変化（動き）が生じたときにアラーム信号を送出します。
この機能を使うことによって、アラームが発生したときに、録画機器などにカメラの映像を録画することができます。

検出条件

被写体の大きさ　：動く物体は1／48以上の大きさが必要です。
被写体のコントラスト　：背景映像と動く物体のコントラスト比が5 %（最大感度設定時）以上必要です。
被写体の動く速さ　：画面の端から端までを物体が通過する時間が0.8秒以上必要（コントラスト比5 %の場合）です。これより速い物体は検出できません。

メモ

被写体の大きさや動く速さの制限は、コントラスト比（明暗の差）が大きいと緩和されます。

デモモードについて

48分割した各ブロックの輝度変化を検出し、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。
デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調節や検出範囲の設定を繰り返して、最適な状態にします。

設定

モーションディテクター機能（MODE2）について

カメラを布やふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを大きく変えられるなどして被写体が変化した場合にアラーム信号を送出します。

重要

- 以下の場合、検出できない可能性があります。
  - ・画面の一部しか覆い隠されていない場合や、覆いが透けている場合
  - ・カメラの向きを変えられる前と後との被写体が似ている場合
- また、以下のような場合、誤検出する可能性があります。
  - ・照明のON／OFFなど明るさの変化が大きい場合
  - ・人や車などの交通量が多い場合

モーションディテクター機能（MODE1）の詳細設定を行う

モーションディテクター（MODE1）の感度レベルや検出範囲などを設定します。マスク設定を行う場合、画揺れ補正「STABILIZER」を「OFF」に設定してください。（☞40ページ）

「CAMERA SETUP」画面

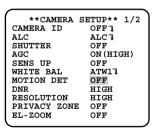
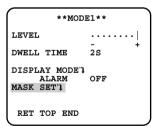
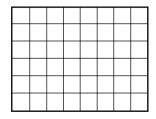
```
   **CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID       OFF↲
ALC             ALC↲
SHUTTER         OFF
AGC             ON(HIGH)
SENS UP         OFF
WHITE BAL       ATW1↲
MOTION DET      OFF
DNR             HIGH
RESOLUTION      HIGH
PRIVACY ZONE    OFF
EL-ZOOM         OFF
```

「MODE1」画面

```
         **MODE1**

LEVEL           ········|
                -       +
DWELL TIME      2S

DISPLAY MODE↲
     ALARM      OFF
MASK SET↲


 RET TOP END
```

マスク設定画面

STEP1

「MOTION DET」を「MODE1」に設定し、SETボタンを押します。
→「MODE1」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「MASK SET」に合わせ、SETボタンを押します。
→マスク設定画面が表示されます。

STEP3

マスクをかけます。操作手順はSUPER-DⅢ機能を設定する場合のマスク設定のしかたと同じです。28ページをお読みください。

STEP4

マスクの設定が完了したら、SETボタンを約2秒以上押し続けます。
→「MODE1」画面に戻ります。

STEP5

カーソルを「ALARM」に合わせ、デモモード時にアラーム信号を送出するかどうかを「ON」/「OFF」で設定します。

ON ：デモモード時にアラーム信号を出力し、動きを感知したときの動作をデモモードで確認できます。

OFF（工場出荷時）
：デモモード時にアラーム信号を出力しません。

STEP6

カーソルを「DISPLAY MODE」に合わせ、SETボタンを押します。
→デモモードが実行され、輝度変化を検出したブロックが点滅表示されます。

STEP7

SETボタンを押します。
→デモモードが終了し、「MODE1」画面に戻ります。

STEP8

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して検出感度レベルを調節します。「+」方向に動かすと感度が上がり、「−」方向に動かすと感度が下がります。
STEP6〜8を繰り返して、最適なレベルに設定します。

STEP9

カーソルを「DWELL TIME」に合わせ、アラーム検出の間引き時間を以下から設定します。
2S（工場出荷時）/5S/10S/30S（S：秒）
アラームの間引き時間を設定すると、アラーム検出後、設定時間が経過するまでは次のアラームが検出されなくなります。

（次ページへ続く）

重要

- 風に揺れるカーテンなどを検出する場合は、マスク設定により検出エリアから除外してください。
- 低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度（LEVEL）を下げてご使用ください。また、車のヘッドライトや照明のON／OFFなどにより被写体の照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
- 本機で映像の変化（動き）を検出してから、VTRなどのアラーム端子に信号が送られるまでに約0.2秒の遅れがあります。また、設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません。（ただし、デモモードで「ALARM」をONにしているときは除きます）
- モーションディテクター機能を「ON」にすると、ブランキング期間にアラームデータを出力するため、VTRのタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信をしないときは、モーションディテクター機能を「OFF」にしてください。
- モーションディテクター機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。

⑧デジタルノイズリダクション機能を設定する［DNR］

デジタルノイズリダクション機能を設定すると、低照度で自動的にノイズを低減します。ここではノイズリダクション効果のレベルを設定します。

LOW　：ノイズ低減効果小（残像小）
HIGH（工場出荷時）　：ノイズ低減効果大（残像大）

⑨映像の解像度を設定する［RESOLUTION］

カメラ映像の解像度を以下から設定します。

NORMAL　：水平解像度を480TV本以上に設定します。
HIGH（工場出荷時）　：水平解像度を540TV本typ.に設定します。

メモ

「HIGH」に設定した場合、低照度で電子感度アップ機能「SENS UP」が動作すると、ノイズが増える場合があります。

⑩プライバシーゾーンを設定する［PRIVACY ZONE］

撮影場所（画面）の中に写したくない部分がある場合、その部分（プライバシーゾーン）だけを表示しないように設定します。

ON（1）　　　　　　　：灰色表示
ON（2）　　　　　　　：モザイク表示
OFF（工場出荷時）　　：通常表示

プライバシーゾーンは8か所まで設定できます。以下の手順に従って操作します。

メモ

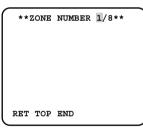
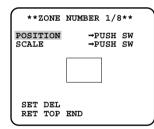
電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーンは働きません。

「CAMERA SETUP」画面

```
   **CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID      OFF ↵
ALC            ALC ↵
SHUTTER        OFF
AGC            ON(HIGH)
SENS UP        OFF
WHITE BAL      ATW1 ↵
MOTION DET     OFF
DNR            HIGH
RESOLUTION     HIGH
PRIVACY ZONE   OFF
EL-ZOOM        OFF
```

ゾーン番号選択画面

ゾーン設定画面

設定

STEP1

「PRIVACY ZONE」にカーソルを合わせ、「ON（1）」または「ON（2）」に設定し、SETボタンを押します。
→ゾーン番号選択画面が表示されます。

STEP2

カーソルが「ZONE NUMBER」右にある「1/8」の「1」にあることを確認し、左ボタンまたは右ボタンを押して、設定したいゾーン番号を設定します。ゾーン番号の右に「*」印がある場合、そのゾーン番号にはすでにプライバシーゾーンが設定されていることをあらわしています。

（次ページへ続く）

STEP3

ゾーン番号を設定したら、SETボタンを押します。
→ゾーン設定画面が表示されます。

メモ

- STEP3ですでに設定済みのゾーン番号を選択した場合、ゾーン設定画面のゾーン枠内に設定されているゾーンの映像が表示されます。STEP4、5の操作を行うと、設定されているゾーンは消去され、新しいゾーンが設定されます。
- ゾーンの設定を解除したい場合は「DEL」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。ゾーンの設定が解除されます。

STEP4

カーソルを「POSITION」に合わせ、SETボタンを押します。

STEP5

上／下／左／右ボタンを押して、ゾーン位置を設定したい場所に調節し、SETボタンを押します。
→ゾーン位置が決定します。

STEP6

カーソルを「SCALE」に合わせ、上／下／左／右ボタンを押して、ゾーン枠の大きさを設定します。上ボタン、下ボタンで縦方向の大きさを、左ボタン、右ボタンで横方向の大きさを調節します。設定したら、SETボタンを押します。

STEP7

カーソルを「SET」に合わせ、SETボタンを押します。
→ゾーンが設定され、ゾーン番号選択画面に戻ります。

⑪電子ズームを設定する［EL-ZOOM］

電子ズームを使用するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。
「ON」に設定した場合は、ズームの倍率やパン・チルトを設定できます。

「CAMERA SETUP」画面

```
   **CAMERA SETUP** 1/2
CAMERA ID       OFF↵
ALC             ALC↵
SHUTTER         OFF
AGC             ON(HIGH)
SENS UP         OFF
WHITE BAL       ATW1↵
MOTION DET      OFF
DNR             HIGH
RESOLUTION      HIGH
PRIVACY ZONE    OFF
EL-ZOOM         OFF
```

「電子ズーム設定」画面

```
      **EL-ZOOM**
PAN/TILT     →PUSH SW
ZOOM         →PUSH SW

RET TOP END
```

PAN/TILT設定画面

```
     **EL-ZOOM**
PAN/TILT    →PUSH SW
ZOOM        →PUSH SW

   U TILT D/L PAN R




RET TOP END
```

ZOOM設定画面

```
     **EL-ZOOM**
PAN/TILT    →PUSH SW
ZOOM        →PUSH SW

       U ZOOM D




RET TOP END
```

STEP1

「EL-ZOOM」にカーソルを合わせ、「ON」または「OFF」を設定し、SETボタンを押します。

→「ON」に設定した場合、電子ズーム設定画面が表示されます。

ON：電子ズームを使用します。
　（→STEP2へ）

OFF（工場出荷時）
　：電子ズームを使用しません。

STEP2

カーソルを「ZOOM」の「PUSH SW」に合わせ、SETボタンを押します。

→ZOOM設定画面が表示されます。

STEP3

上ボタンまたは下ボタンで電子ズームの倍率（最大2倍）を変更して画角を調節し、SETボタンを押します。

メモ

電子ズームの倍率を上げると解像度が低下します。

STEP4

カーソルを「PAN/TILT」の「PUSH SW」に合わせ、SETボタンを押します。

→PAN/TILT設定画面が表示されます。

STEP5

上／下／左／右ボタンを押して映像の位置を設定し、SETボタンを押します。

位置は、ZOOM設定画面で設定した倍率の範囲内で変更できます。

メモ

工場出荷時の設定に戻すときは、設定画面が表示された状態で左ボタン、右ボタンを同時に約2秒間押し続けます。

⑫映像を上下(左右)反転表示する ［UPSIDE-DOWN］

カメラの映像を上下（左右）反転表示するかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。カメラの設置場所（使用環境）に応じて設定してください。
ON　：カメラの映像を上下（左右）反転表示します。
OFF（工場出荷時）　：上下（左右）反転表示しません。

⑬画揺れを補正する［STABILIZER］

カメラレンズの画揺れ補正を行うかどうかを「ON」／「OFF」で設定します。カメラを電柱やポールに設置した場合などに有効な機能です。
ON　：画揺れを軽減します。
OFF（工場出荷時）　：画揺れ補正を行いません。

重要

- 「ON」に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。「ON」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角、解像度を確認してください。
- 以下の被写体に対しては、画揺れ補正が効かない場合があります。
  - ・暗い被写体
  - ・明暗差のない被写体（白い壁など）
  - ・機械的振動などの速い周期の画揺れ
  - ・振幅の大きい画揺れ

⑭音量を調節する［AUDIO LEVEL］

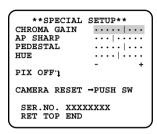
左ボタンまたは右ボタンを押して内蔵マイクロホンの音量を調節します。「+」方向に動かすと音量が大きくなり、「−」方向に動かすと音量が小さくなります。

重要

- 内蔵マイクロホンを使用する場合は、本機ドームカバー内部のマイクスイッチを「入」にしてください。
- DC12 V電源で使用する場合は、音声機能は使えません。

設定

特別メニューの設定を行う［SPECIAL］

カメラの画質に関する設定など、特別メニューの設定を行います。トップ画面から「SPECIAL SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは23、24ページをお読みください。

クロマレベル（色の濃さ）を調節する［CHROMA GAIN］

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色の濃さを調節します。「＋」方向に動かすと色が濃くなり、「−」方向に動かすと色が薄くなります。調節はベクトル色度指示器かビデオ受像機を見ながら調節します。

アパーチャーレベルを調節する［AP SHARP］

本機ドームカバー内部の輪郭スイッチで強／弱を切り替えます。左ボタンまたは右ボタンを押すと映像を微調節できます。「＋」方向に動かすとシャープな映像に、「−」方向に動かすとソフトな映像になります。調節は、ビデオ受像機を見ながら調節します。

メモ

じゅうたんやカーテンなどの細かい模様のものを撮影すると、モアレ（干渉縞）が出ることがあります。その場合「−」方向に動かすと緩和されます。

ペデスタルレベル（明るさ）を調節する［PEDESTAL］

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の明るさを調節します。「＋」方向に動かすと明るい映像に、「−」方向に動かすと暗い映像になります。調節は波形モニターかビデオ受像機を見ながら調節します。

設定

クロマ位相レベル（色合い）を調節する［HUE］

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色合いを調節します。調節はベクトル色度指示器やビデオ受像機を見ながら調節します。

メモ

「CHROMA GAIN」「AP SHARP」「PEDESTAL」「HUE」の設定値は左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押すと、工場出荷値に戻ります。

傷を補正する［PIX OFF］

カメラ映像内の傷を補正します。16か所まで補正できます。以下の手順に従って操作します。

「SPECIAL SETUP」画面

```
   **SPECIAL SETUP**
CHROMA GAIN    .....|...
AP SHARP       ...|.....
PEDESTAL       .....|...
HUE            ....|....
               -       +
PIX OFF↵

CAMERA RESET →PUSH SW

 SER.NO. XXXXXXXX
 RET TOP END
```

「PIX OFF」画面

```
       **PIX OFF**

 1     2     3     4
 5     6     7     8
 9    10    11    12
13    14    15    16



000 000

RET TOP END
```

傷補正位置設定画面

STEP1

「PIX OFF」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
→「PIX OFF」画面が表示されます。

STEP2

傷補正位置を登録する番号（1～16）を選択し、SETボタンを押します。
→傷補正位置設定画面が表示されます。

STEP3

上／下／左／右ボタンを押して、補正したい傷の中心位置に十字カーソルを移動し、SETボタンを押します。
→傷が補正され、傷補正位置が登録されます。「PIX OFF」画面に戻ります。登録されると、数字の右に「＊」印が表示されます。座標が数字で表示されます。

メモ

- 登録した傷補正位置を消去する場合は、「PIX OFF」画面で消去したい傷補正位置が登録されている番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。傷補正位置設定画面が表示され、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。「PIX OFF」画面に戻り、傷補正位置が消去され、数字右の「＊」印が消えます。
- ビデオ信号方式の自動絞りレンズを使用している場合は、画面を暗くしてから、補正を行ってください。

工場出荷時の設定内容に戻す［CAMERA RESET］

SETUPメニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻します。
カーソルを「CAMERA RESET」の「PUSH SW」に合わせ、左ボタン＋SETボタン＋右ボタンを同時に約2秒間押し続けると、設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

メモ

PIX OFF設定だけはリセットされません。

シリアルナンバーを確認する［SER.NO.］

本機のシリアルナンバーが表示されます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
映像が表示されない	●同軸ケーブルが正しく接続され、テルック／DC12 V切替スイッチが正しく設定されていますか？ →接続および設定が正しいか確認してください。	13
映像が表示されない	●モニター輝度の調節、コントラスト調節は正しくされていますか？ →設定を確認してください。	41
映像がぼやける	●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ →カメラのレンズを確認してください。	–

その他

仕様

●カラーテレビカメラ

項目		仕様
電源		テルック専用ビデオ受像機など、またはACアダプターなどによりDC電源供給
消費電流		テルック310 mA／DC12 V（10.8 V～16 V）270 mA
撮像素子		1/4型　インターライン転送方式CCD
有効画素数		768（H）× 494（V）
走査面積		4.43 mm（H）× 3.69 mm（V）
走査方式		2:1インターレース
走査周波数		水平：15.734 kHz　垂直：59.94 Hz
同期方式		多重VD同期（VD2）／内部同期（INT）
解像度		水平：540TV本typ.、 520TV本以上（RESOLUTION：HIGH時） 垂直：350TV本以上（中心部）
焦点距離（f）		
	WV-CF45	2.8 mm～5.8 mm
	WV-CF46	1.7 mm
最大口径比（F）		
	WV-CF45	1:1.4（WIDE）～1:1.9（TELE）
	WV-CF46	1:1.4
画角	WV-CF45	水平：37°（TELE）～75°（WIDE） 垂直：28°（TELE）～56°（WIDE）
	WV-CF46	水平：111° 垂直：87°
動作可変角度		水平：＋180°（時計回り）、－140°（反時計回り） 垂直：±75° 傾き：±100°
最低照度		0.7 lx（F1.4）
S／N		50 dB（AGC OFF時）
ダイナミックレンジ		52 dB typ.
映像出力		VBS 1.0 V[P-P]／75 Ω（カメラ駆動ユニット出力）
モニター出力		テルック時：1.1 V[P-P]／75 Ω（RCAピンジャック） DC電源時　：1.0 V[P-P]／75 Ω（RCAピンジャック）
内蔵マイクロホン		無指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
ALC駆動		DC駆動
機能	カメラタイトル	最大16文字表示（アルファベット,カタカナ,数字,記号）
	光量制御	ALC
	SUPER-DⅢ	ON／OFF
	電子シャッター	OFF（1／60）、1／100（フリッカレススイッチで切替）

	AGC	ON（HIGH／MID／LOW）／OFF
	電子感度アップ	OFF,X2 AUTO,X4 AUTO,X6 AUTO,X10 AUTO , X2 FIX,X4 FIX,X6 FIX,X10 FIX,X16 FIX,X32 FIX
	フリッカレス	入／切
	輪郭補正	強／弱
	内蔵マイクロホン	入／切（テルック時のみ有効）
	ホワイトバランス	ATW1／ATW2／AWC
	モーションディテクター	MODE1／MODE2／OFF
	DNR	LOW／HIGH
	解像度	NORMAL／HIGH
	プライバシーゾーン	ON（1／2）／OFF
	電子ズーム	ON／OFF
	上下（左右）反転	ON／OFF
	画揺れ補正	ON／OFF
使用温度範囲		−10 ℃ ～ +50 ℃
使用湿度範囲		90 %以下
寸法		幅 φ120 mm　高さ 125.5 mm
質量	WV-CF45	約 740 g（天井取付金具含む）
	WV-CF46	約 730 g（天井取付金具含む）
仕上げ		ライトエフェクトブルーメタリック／ライトFLシルバー

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）　補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

44ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	カラーテレビカメラ
品　番	WV-CF45,WV-CF46
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	WV-CF45,WV-CF46
販 売 店 名	電話　（　　　）　　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話　フリーダイヤル　0120-878-410

3TR004005CZA
Ns0208-2108
Printed in China